



平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月15日
上場取引所 東

上場会社名 トモニホールディングス株式会社
 コード番号 8600 URL <http://www.tomony-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長兼CEO (氏名) 遠山 誠司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務経営企画部長 (氏名) 高橋 邦明
 定時株主総会開催予定日 平成27年6月26日 配当支払開始予定日 平成27年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 平成27年6月26日 特定取引勘定設置の有無 無
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

TEL 087-812-0102
平成27年6月29日

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成27年3月期の連結業績(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|------|--------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期 | 64,634 | △1.1 | 14,203 | △1.6 | 8,332 | 6.1 |
| 26年3月期 | 65,359 | 4.3 | 14,439 | 50.2 | 7,849 | 40.8 |

(注) 包括利益 27年3月期 21,740百万円 (196.2%) 26年3月期 7,338百万円 (△64.0%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益 | 自己資本当期純利 益率 | 総資産経常利益率 | 経常収益経常利益 率 |
|--------|------------|-----------------------|----------------|----------|---------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 27年3月期 | 55.77 | 55.13 | 4.8 | 0.4 | 21.9 |
| 26年3月期 | 52.78 | 52.31 | 4.9 | 0.5 | 22.0 |

(参考) 持分法投資損益 27年3月期 一百万円 26年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|-----------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年3月期 | 2,973,823 | 183,753 | 6.0 | 1,207.23 |
| 26年3月期 | 2,827,191 | 163,192 | 5.6 | 1,076.83 |

(参考) 自己資本 27年3月期 180,713百万円 26年3月期 160,521百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|--------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 27年3月期 | △41,390 | △15,095 | △1,465 | 100,640 |
| 26年3月期 | 203,842 | △102,350 | △1,023 | 158,581 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 26年3月期 | — | 4.00 | — | 4.00 | 8.00 | 1,191 | 15.1 | 0.7 |
| 27年3月期 | — | 4.00 | — | 4.00 | 8.00 | 1,216 | 14.3 | 0.6 |
| 28年3月期(予想) | — | 4.00 | — | 4.00 | 8.00 | | 21.3 | |

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 4,250 | △43.7 | 2,900 | △46.0 | 19.37 |
| 通期 | 8,650 | △39.0 | 5,600 | △32.7 | 37.41 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

| | | | |
|--------|---------------|--------|---------------|
| 27年3月期 | 152,434,888 株 | 26年3月期 | 152,434,888 株 |
| 27年3月期 | 2,742,375 株 | 26年3月期 | 3,367,387 株 |
| 27年3月期 | 149,402,568 株 | 26年3月期 | 148,710,210 株 |

(参考)個別業績の概要

平成27年3月期の個別業績(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期 | 1,712 | 4.2 | 1,258 | 1.0 | 1,246 | 1.2 | 1,226 | 0.5 |
| 26年3月期 | 1,642 | 21.9 | 1,245 | 29.8 | 1,231 | 29.3 | 1,219 | 30.3 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|--------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | 8.20 | 8.11 |
| 26年3月期 | 8.20 | 8.12 |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|--------|--------|---|--------|---|--------|---|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 27年3月期 | 87,412 | | 86,331 | | 98.0 | | 572.62 | |
| 26年3月期 | 87,209 | | 85,953 | | 98.0 | | 573.33 | |

(参考) 自己資本 27年3月期 85,717百万円 26年3月期 85,465百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。

※ 監査手続の実施状況に関する表示

決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、当決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 決算補足説明資料の入手方法

決算補足説明資料につきましては、当決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

| | |
|--|----|
| 1. 経営成績・財政状態に関する分析 | 2 |
| (1) 経営成績に関する分析 | 2 |
| (2) 財政状態に関する分析 | 2 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 2 |
| 2. 経営方針 | 3 |
| (1) 会社の経営の基本方針 | 3 |
| (2) 会社の対処すべき課題、中長期的な会社の経営戦略及び目標とする経営指標 | 3 |
| 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 4. 連結財務諸表 | 4 |
| (1) 連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 6 |
| 連結損益計算書 | 6 |
| 連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 継続企業の前提に関する注記 | 12 |
| (6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 12 |
| (7) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 15 |
| (8) 連結財務諸表に関する注記事項 | 15 |
| (セグメント情報) | 15 |
| (1株当たり情報) | 17 |
| (重要な後発事象) | 18 |
| (参考) 個別業績の概要 (株式会社徳島銀行) | 19 |
| (参考) 個別業績の概要 (株式会社香川銀行) | 25 |

「参考」

平成27年3月期 決算説明資料

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当期における経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息が減少したこと等により、前期比725百万円減少して64,634百万円となりました。経常費用は、与信関連費用が減少したこと等により、前期比490百万円減少して50,430百万円となりました。その結果、経常利益は前期比236百万円減少して14,203百万円となり、当期純利益は前期比483百万円増加して8,332百万円となりました。

次期につきましては、経常利益が8,650百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が5,600百万円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

当期末における財政状態につきましては、総資産残高は前期末比1,467億円増加して2兆9,738億円となり、純資産残高は前期末比206億円増加して1,837億円となりました。

なお、主要な勘定の残高につきましては、譲渡性預金を含む預金等残高は前期末比983億円増加して2兆7,020億円、貸出金残高は前期末比492億円増加して1兆9,153億円、有価証券残高は前期末比409億円増加して7,808億円となりました。

また、キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動の結果使用した資金は41,390百万円、投資活動の結果使用した資金は15,095百万円、財務活動の結果使用した資金は1,465百万円となりました。その結果、現金及び現金同等物の当期末残高は100,640百万円となりました。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、企業価値の継続的向上を図るとともに、株主の皆さまに対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置づけたうえで、経営体質の一層の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

こうした方針に基づきまして、当期の期末配当金は1株当たり4円（中間配当金として4円お支払いしておりますので、これを合わせた当期の年間配当金は1株当たり8円）とさせていただきます予定であります。

なお、次期の配当金につきましては、上記の基本方針に則り、1株当たり年間配当金8円（中間配当金が1株当たり4円、期末配当金が1株当たり4円）とさせていただきます予定であります。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、株式会社徳島銀行（以下「徳島銀行」といいます。）と株式会社香川銀行（以下「香川銀行」といいます。）が経営統合することにより、より強固な経営基盤、幅広いネットワークを実現し、お客さま第一主義の経営思想をさらに高め、地域のお客さまとともに成長する金融グループを形成することを目指してまいります。

(2) 会社の対処すべき課題、中長期的な会社の経営戦略及び目標とする経営指標

地域金融機関を取り巻く環境につきましては、市場金利の低下や他金融機関との競合等により資金運用利回りが低下するなど収益環境が厳しさを増しており、営業基盤とする地域においても将来的に人口や事業者数の減少に伴う地域経済の縮小が見込まれております。そのような環境下において、地域金融機関は、高度化する顧客ニーズへの対応、地域に密着した活動の継続、地方創生に向けた金融機能の発揮等が求められております。

こうした環境変化を先取りし、徳島銀行と香川銀行は経営統合を行い、四国をはじめ岡山・大阪・兵庫にネットワークを有する広域金融グループとして、これまでに一定の統合効果を実現してまいりました。

こうした統合効果の実現を踏まえ、大阪地区を成長エリアと位置づけている当社は、平成27年4月に徳島銀行及び香川銀行と同一の基幹システムを導入した大阪府を主要営業基盤とする株式会社大正銀行と、将来の持続的成長に向けた協議・検討を進めていくことについて合意いたしました。今後は、平成28年4月の経営統合に向けて、着実に協議を進めてまいります。

また、当社は、平成27年6月開催予定の第5期定時株主総会において、必要な定款変更についての承認が得られることを条件として、本年5月1日の「会社法の一部を改正する法律」（平成26年法律第90号）により導入される「監査等委員会設置会社」へ移行する予定であります。当社子会社である徳島銀行及び香川銀行においても同様に「監査等委員会設置会社」へ移行する予定であり、これによりまして、当社グループにおけるコーポレート・ガバナンス体制をより一層充実させ、更なる企業価値の向上を図ってまいります。

なお、目指すべき経営指標としては、平成28年3月期において預金等残高（単体合計）2兆5,800億円、貸出金残高（単体合計）1兆8,900億円、中小企業等貸出金残高増加額（単体合計）300億円、コア業務純益（単体合計）180億円、コア業務粗利益OHR（単体合計）60.0%以下、コア資本比率（連結）9.8%以上を掲げております。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を適用しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の会計基準を巡る諸情勢を考慮の上、適切に対応する方針であります。

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当連結会計年度 (平成27年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 現金預け金 | 161,482 | 105,200 |
| コールローン及び買入手形 | - | 120,000 |
| 買現先勘定 | 15,000 | - |
| 商品有価証券 | 200 | 233 |
| 金銭の信託 | 4,453 | 4,479 |
| 有価証券 | 739,967 | 780,880 |
| 貸出金 | 1,866,100 | 1,915,374 |
| 外国為替 | 4,663 | 6,995 |
| リース債権及びリース投資資産 | 8,282 | 8,378 |
| その他資産 | 15,298 | 17,296 |
| 有形固定資産 | 27,662 | 30,552 |
| 建物 | 7,715 | 7,526 |
| 土地 | 15,777 | 15,966 |
| リース資産 | 829 | 1,107 |
| 建設仮勘定 | 1,447 | 4,359 |
| その他の有形固定資産 | 1,894 | 1,592 |
| 無形固定資産 | 140 | 131 |
| ソフトウェア | 2 | 1 |
| リース資産 | 23 | 15 |
| その他の無形固定資産 | 113 | 113 |
| 退職給付に係る資産 | 1,102 | 1,445 |
| 繰延税金資産 | 1,279 | 221 |
| 支払承諾見返 | 7,226 | 7,022 |
| 貸倒引当金 | △25,668 | △24,388 |
| 資産の部合計 | 2,827,191 | 2,973,823 |
| 負債の部 | | |
| 預金 | 2,559,512 | 2,660,377 |
| 譲渡性預金 | 44,243 | 41,688 |
| 借入金 | 20,440 | 48,076 |
| 外国為替 | 25 | 43 |
| その他負債 | 27,810 | 23,988 |
| 賞与引当金 | 304 | 325 |
| 役員賞与引当金 | 71 | 71 |
| 退職給付に係る負債 | 864 | 39 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 402 | 391 |
| 偶発損失引当金 | 297 | 284 |
| 繰延税金負債 | 1,712 | 6,784 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,084 | 975 |
| 支払承諾 | 7,226 | 7,022 |
| 負債の部合計 | 2,663,999 | 2,790,070 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当連結会計年度 (平成27年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 資本金 | 25,000 | 25,000 |
| 資本剰余金 | 21,887 | 21,886 |
| 利益剰余金 | 98,268 | 105,067 |
| 自己株式 | △1,192 | △971 |
| 株主資本合計 | 143,963 | 150,982 |
| その他有価証券評価差額金 | 14,979 | 27,656 |
| 繰延ヘッジ損益 | △1 | △0 |
| 土地再評価差額金 | 1,462 | 1,573 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 117 | 501 |
| その他の包括利益累計額合計 | 16,557 | 29,731 |
| 新株予約権 | 488 | 614 |
| 少数株主持分 | 2,182 | 2,425 |
| 純資産の部合計 | 163,192 | 183,753 |
| 負債及び純資産の部合計 | 2,827,191 | 2,973,823 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 経常収益 | 65,359 | 64,634 |
| 資金運用収益 | 46,466 | 45,448 |
| 貸出金利息 | 37,335 | 35,974 |
| 有価証券利息配当金 | 8,888 | 9,277 |
| コールローン利息及び買入手形利息 | 99 | 43 |
| 買現先利息 | 14 | 3 |
| 預け金利息 | 93 | 120 |
| その他の受入利息 | 35 | 30 |
| 役務取引等収益 | 6,502 | 6,577 |
| その他業務収益 | 9,546 | 9,257 |
| その他経常収益 | 2,844 | 3,351 |
| 償却債権取立益 | 1,078 | 930 |
| その他の経常収益 | 1,766 | 2,420 |
| 経常費用 | 50,920 | 50,430 |
| 資金調達費用 | 2,191 | 2,121 |
| 預金利息 | 1,913 | 1,856 |
| 譲渡性預金利息 | 82 | 76 |
| コールマネー利息及び売渡手形利息 | 0 | 0 |
| 借入金利息 | 174 | 146 |
| その他の支払利息 | 20 | 41 |
| 役務取引等費用 | 3,318 | 3,487 |
| その他業務費用 | 6,695 | 6,158 |
| 営業経費 | 29,645 | 29,703 |
| その他経常費用 | 9,069 | 8,959 |
| 貸倒引当金繰入額 | 4,835 | 3,899 |
| その他の経常費用 | 4,234 | 5,059 |
| 経常利益 | 14,439 | 14,203 |
| 特別利益 | 6 | - |
| 固定資産処分益 | 6 | - |
| 特別損失 | 141 | 293 |
| 固定資産処分損 | 76 | 39 |
| 減損損失 | 65 | 254 |
| 税金等調整前当期純利益 | 14,304 | 13,910 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,893 | 3,958 |
| 法人税等調整額 | 2,377 | 1,470 |
| 法人税等合計 | 6,270 | 5,428 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 8,033 | 8,481 |
| 少数株主利益 | 184 | 149 |
| 当期純利益 | 7,849 | 8,332 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日) |
|----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 8,033 | 8,481 |
| その他の包括利益 | △695 | 13,258 |
| その他有価証券評価差額金 | △695 | 12,773 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | 0 |
| 土地再評価差額金 | - | 101 |
| 退職給付に係る調整額 | - | 384 |
| 包括利益 | 7,338 | 21,740 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 7,206 | 21,495 |
| 少数株主に係る包括利益 | 131 | 245 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 25,000 | 21,887 | 91,606 | △1,442 | 137,051 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,188 | | △1,188 |
| 当期純利益 | | | 7,849 | | 7,849 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | 250 | 250 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | 1 | | 1 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | 6,661 | 250 | 6,911 |
| 当期末残高 | 25,000 | 21,887 | 98,268 | △1,192 | 143,963 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 新株予約権 | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-----------------------|-------|--------|---------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 土地再評価 差額金 | 退職給付 に係る 調整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 15,621 | △1 | 1,463 | - | 17,083 | 307 | 2,052 | 156,495 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △1,188 |
| 当期純利益 | | | | | | | | 7,849 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | | 250 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | | | | 1 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △642 | △0 | △1 | 117 | △525 | 181 | 129 | △215 |
| 当期変動額合計 | △642 | △0 | △1 | 117 | △525 | 181 | 129 | 6,696 |
| 当期末残高 | 14,979 | △1 | 1,462 | 117 | 16,557 | 488 | 2,182 | 163,192 |

当連結会計年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

（単位：百万円）

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|--------|--------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 25,000 | 21,887 | 98,268 | △1,192 | 143,963 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | △328 | | △328 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 25,000 | 21,887 | 97,939 | △1,192 | 143,634 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,194 | | △1,194 |
| 当期純利益 | | | 8,332 | | 8,332 |
| 自己株式の取得 | | | | △3 | △3 |
| 自己株式の処分 | | △0 | | 224 | 223 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | △10 | | △10 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | △0 | 7,127 | 220 | 7,347 |
| 当期末残高 | 25,000 | 21,886 | 105,067 | △971 | 150,982 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 新株予約権 | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|--------------|---------------|-------|--------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 14,979 | △1 | 1,462 | 117 | 16,557 | 488 | 2,182 | 163,192 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | | | | △328 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 14,979 | △1 | 1,462 | 117 | 16,557 | 488 | 2,182 | 162,863 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △1,194 |
| 当期純利益 | | | | | | | | 8,332 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △3 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | | 223 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | | | | △10 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 12,676 | 0 | 111 | 384 | 13,173 | 125 | 243 | 13,542 |
| 当期変動額合計 | 12,676 | 0 | 111 | 384 | 13,173 | 125 | 243 | 20,889 |
| 当期末残高 | 27,656 | △0 | 1,573 | 501 | 29,731 | 614 | 2,425 | 183,753 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 14,304 | 13,910 |
| 減価償却費 | 1,107 | 1,276 |
| 減損損失 | 65 | 254 |
| 貸倒引当金の増減(△) | 666 | △1,279 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 19 | 20 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | 2 | △0 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △1,384 | - |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | △1,102 | △471 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 864 | △605 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △7 | - |
| 睡眠預金払戻損失引当金の増減額(△は減少) | 27 | △10 |
| 偶発損失引当金の増減額(△は減少) | 14 | △12 |
| 資金運用収益 | △46,466 | △45,448 |
| 資金調達費用 | 2,191 | 2,121 |
| 有価証券関係損益(△) | △1,952 | △3,273 |
| 金銭の信託の運用損益(△は益) | 2 | △42 |
| 為替差損益(△は益) | △5,654 | △14,912 |
| 固定資産処分損益(△は益) | 69 | 39 |
| 貸出金の純増(△)減 | △28,675 | △49,274 |
| 預金の純増減(△) | 65,975 | 100,864 |
| 譲渡性預金の純増減(△) | 205 | △2,555 |
| 借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△) | △2,752 | 27,636 |
| 預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減 | 4,413 | △1,659 |
| コールローン等の純増(△)減 | 150,999 | △104,999 |
| 外国為替(資産)の純増(△)減 | △1,010 | △2,331 |
| 外国為替(負債)の純増減(△) | 11 | 18 |
| 資金運用による収入 | 48,445 | 46,692 |
| 資金調達による支出 | △2,261 | △2,254 |
| リース債権及びリース投資資産の純増(△)減 | △547 | △95 |
| その他 | 8,375 | 20 |
| 小計 | 205,950 | △36,375 |
| 法人税等の支払額 | △2,107 | △5,014 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 203,842 | △41,390 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の取得による支出 | △277,477 | △206,130 |
| 有価証券の売却による収入 | 86,749 | 82,206 |
| 有価証券の償還による収入 | 90,990 | 112,903 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,670 | △4,084 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 57 | 8 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △102,350 | △15,095 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 劣後特約付借入れによる収入 | 1,000 | - |
| 劣後特約付借入金の返済による支出 | △1,000 | - |
| 配当金の支払額 | △1,186 | △1,190 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △2 | △2 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △3 |
| 自己株式の処分による収入 | 274 | 265 |
| リース債務の返済による支出 | △108 | △534 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,023 | △1,465 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 13 | 10 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 100,481 | △57,940 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 58,099 | 158,581 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 158,581 | 100,640 |

(5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社 9社

株式会社徳島銀行

株式会社香川銀行

トモニシステムサービス株式会社

株式会社徳銀ビジネスサービス

香川ビジネスサービス株式会社

トモニリース株式会社

香川銀コンピューターサービス株式会社

トモニカード株式会社

株式会社徳銀キャピタル

(2) 非連結子会社

トモニ6次産業化サポート投資事業有限責任組合

非連結子会社は、その資産、経常収益、当期純損益（持分に見合う額）、利益剰余金（持分に見合う額）及びその他の包括利益累計額（持分に見合う額）からみて、連結の範囲から除いても企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいため、連結の範囲から除外しております。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の非連結子会社

該当ありません。

(2) 持分法適用の関連会社

該当ありません。

(3) 持分法非適用の非連結子会社

トモニ6次産業化サポート投資事業有限責任組合

持分法非適用の非連結子会社は、当期純損益（持分に見合う額）、利益剰余金（持分に見合う額）及びその他の包括利益累計額（持分に見合う額）からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に重要な影響を与えないため、持分法の対象から除いております。

(4) 持分法非適用の関連会社

該当ありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

(1) 連結子会社の決算日は次のとおりであります。

3月末日 9社

4. 会計処理基準に関する事項

(1) 商品有価証券の評価基準及び評価方法

商品有価証券の評価は、時価法（売却原価は移動平均法により算定）により行っております。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

(イ) 有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法（定額法）、その他有価証券については原則として連結決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）、ただし時価を把握することが極めて困難と認められるものについては移動平均法による原価法により行っております。

なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

(ロ) 有価証券運用を主目的とする単独運用の金銭の信託において信託財産として運用されている有価証券の評価は、時価法により行っております。

(3) デリバティブ取引の評価基準及び評価方法

デリバティブ取引の評価は、時価法により行っております。

(4) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

有形固定資産は、定率法（ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（建物附属設備を除く。）については定額法）を採用しております。

また、主な耐用年数は次のとおりであります。

建 物：7年～50年

その他：3年～20年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

無形固定資産は、定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、連結子会社で定める利用可能期間（5年）に基づいて償却しております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る「有形固定資産」及び「無形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とした定額法により償却しております。なお、残存価額については、リース契約上に残価保証の取決めがあるものは当該残価保証額とし、それ以外のものは零としております。

(5) 貸倒引当金の計上基準

銀行業を営む連結子会社の貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。

破産、特別清算等法的に経営破綻の事実が発生している債務者（以下「破綻先」という。）に係る債権及びそれと同等の状況にある債務者（以下「実質破綻先」という。）に係る債権については、以下のなお書きに記載されている直接減額後の帳簿価額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現在は経営破綻の状況にないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者（以下「破綻懸念先」という。）に係る債権については、債権額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。

上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率等に基づき計上しております。

すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、営業関連部署が資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しております。

なお、破綻先及び実質破綻先に対する担保・保証付債権等については、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しており、その金額は19,863百万円であります。

その他の連結子会社の貸倒引当金は、一般債権については過去の貸倒実績率等を勘案して必要と認めた額を、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額をそれぞれ計上しております。

(6) 賞与引当金の計上基準

賞与引当金は、従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当連結会計年度に帰属する額を計上しております。

(7) 役員賞与引当金の計上基準

役員賞与引当金は、役員への賞与の支払いに備えるため、役員に対する賞与の支給見込額のうち、当連結会計年度に帰属する額を計上しております。

(8) 睡眠預金払戻損失引当金の計上基準

睡眠預金払戻損失引当金は、負債計上を中止した預金の預金者からの将来の払戻請求に備えるため、過去の払戻実績に基づき、必要額を計上しております。

(9) 偶発損失引当金の計上基準

偶発損失引当金は、信用保証協会における責任共有制度に基づく負担金等の支払いに備えるため、予め定めている償却・引当基準に基づき将来の負担金支払見積額を計上しております。

(10) 退職給付に係る会計処理の方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。また、過去勤務費用及び数理計算上の差異の損益処理方法は次のとおりであります。

過去勤務費用 その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（10年）による定額法により損益処理

数理計算上の差異 各連結会計年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（5年又は10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生翌連結会計年度から損益処理

なお、一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(11) 収益及び費用の計上基準

ファイナンス・リース取引に係る収益及び費用の計上基準については、リース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法によっております。

(12) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建資産・負債は、連結決算日の為替相場による円換算額を付しております。

(13) リース取引の処理方法

(借手側)

所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年4月1日前に開始する連結会計年度に属するものについては、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっております。

(貸手側)

所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年4月1日前に開始する連結会計年度に属するものについては、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号平成19年3月30日）適用初年度の前連結会計年度末における固定資産の適正な帳簿価額（減価償却累計額控除後）を、同会計基準適用初年度期首のリース投資資産の価額として計上しております。

また、当該リース投資資産については、同会計基準適用後の残存期間における利息相当額の各期への配分方法は、定額法によっております。

なお、リース取引開始日に遡及して同会計基準を適用した場合に比べ、当連結会計年度の税金等調整前当期純利益は、9百万円多く計上されております。

(14) 重要なヘッジ会計の方法

(イ) 金利リスク・ヘッジ

金融資産・負債から生じる金利リスクに対するヘッジ会計の方法は、金利スワップの特例処理によっております。

(ロ) 為替変動リスク・ヘッジ

銀行業を営む連結子会社の外貨建金融資産・負債から生じる為替変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号）に規定する繰延ヘッジによっております。

ヘッジ有効性評価の方法については、外貨建金銭債権債務等の為替変動リスクを減殺する目的で行う通貨スワップ取引及び為替スワップ取引等をヘッジ手段とし、ヘッジ対象である外貨建金銭債権債務等に見合うヘッジ手段の外貨ポジション相当額が存在することを確認することによりヘッジの有効性を評価しております。

(15) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲は、連結貸借対照表上の「現金預け金」のうち現金及び日本銀行への預け金であります。

(16) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(7) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当連結会計年度より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に基づき決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当連結会計年度の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当連結会計年度の期首の退職給付に係る資産が639百万円、退職給付に係る負債が130百万円、利益剰余金が328百万円それぞれ減少しております。また、当連結会計年度の経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ20百万円増加しております。

なお、1株当たり情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い)

当社は、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号平成27年3月26日)を当連結会計年度から適用しております。なお、当実務対応報告適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理につきましては従来採用していた方法を継続するため、当実務対応報告の適用による連結財務諸表への影響はありません。

(8) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、銀行業を中心とした金融サービス業務を提供しており、銀行業及びリース業を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

事業セグメントの利益は、経常利益としております。また、セグメント間の内部経常収益は、外部顧客に対する経常収益と同一の決定方法による取引価格に基づいた金額であります。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
当連結会計年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 合計 | 調整額 | 連結財務諸表計上額 |
|--------------------|-----------|--------|-----------|--------|-----------|----------|-----------|
| | 銀行業 | リース業 | 計 | | | | |
| 経常収益 | | | | | | | |
| 外部顧客に対する経常収益 | 57,303 | 6,173 | 63,476 | 1,158 | 64,634 | — | 64,634 |
| セグメント間の内部経常収益 | 215 | 161 | 377 | 2,813 | 3,191 | △3,191 | — |
| 計 | 57,518 | 6,335 | 63,853 | 3,972 | 67,826 | △3,191 | 63,634 |
| セグメント利益 | 13,724 | 185 | 13,909 | 1,521 | 15,430 | △1,226 | 14,203 |
| セグメント資産 | 2,963,377 | 16,153 | 2,979,531 | 96,276 | 3,075,807 | △101,983 | 2,973,823 |
| セグメント負債 | 2,785,111 | 13,967 | 2,799,078 | 6,317 | 2,805,396 | △15,326 | 2,790,070 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 1,231 | 24 | 1,256 | 25 | 1,281 | △5 | 1,276 |
| 資金運用収益 | 45,253 | 14 | 45,268 | 1,526 | 46,794 | △1,345 | 45,448 |
| 資金調達費用 | 2,059 | 128 | 2,187 | 52 | 2,240 | △119 | 2,121 |
| 特別損失 | 293 | — | 293 | 8 | 293 | — | 293 |
| 減損損失 | 254 | — | 254 | — | 254 | — | 254 |
| 税金費用 | 5,264 | 121 | 5,386 | 41 | 5,428 | 0 | 5,428 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 4,472 | 13 | 4,486 | 4 | 4,491 | △1 | 4,490 |

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、カード業及びベンチャーキャピタル業等が含まれております。

3. 調整額は、次のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,226百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (2) セグメント資産の調整額△101,983百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (3) セグメント負債の調整額△15,326百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (4) 減価償却費の調整額のうち9百万円は、連結上「有形固定資産」及び「無形固定資産」となるリース投資資産に係る減価償却費であり、△15百万円はセグメント間取引消去であります。
- (5) 資金運用収益の調整額△1,345百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (6) 資金調達費用の調整額△119百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (7) 税金費用の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (8) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,076円83銭 | 1,207円23銭 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 52円78銭 | 55円77銭 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | 52円31銭 | 55円13銭 |

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

| | | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当連結会計年度 (平成27年3月31日) |
|---------------------------------|-----|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額 | 百万円 | 163,192 | 183,753 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額 | 百万円 | 2,670 | 3,039 |
| うち新株予約権 | 百万円 | 488 | 614 |
| うち少数株主持分 | 百万円 | 2,182 | 2,425 |
| 普通株式に係る期末の純資産額 | 百万円 | 160,521 | 180,713 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 | 千株 | 149,067 | 149,692 |

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

| | | 前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日) |
|---|-----|--|--|
| 1株当たり当期純利益金額 | | | |
| 当期純利益 | 百万円 | 7,849 | 8,332 |
| 普通株主に帰属しない金額 | 百万円 | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益 | 百万円 | 7,849 | 8,332 |
| 普通株式の期中平均株式数 | 千株 | 148,710 | 149,402 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | | | |
| 当期純利益調整額 | 百万円 | — | — |
| 普通株式増加数 | 千株 | 1,321 | 1,721 |
| うち新株予約権 | 千株 | 1,321 | 1,721 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益金額の算 定に含めなかった潜在株式の概要 | | — | — |

3. 従業員持株ESOP信託が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度2,914千株、当連結会計年度2,346千株)。

また、同株式を、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度3,272千株、当連結会計年度2,625千株)。

4. 会計方針の変更に記載のとおり、退職給付会計基準及び退職給付適用指針を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて、当連結会計年度より適用し、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っております。

この結果、当連結会計年度の期首の1株当たり純資産額が、2円20銭減少し、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、それぞれ0円13銭増加しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年4月10日に開催した取締役会において、当社を株式交換完全親会社とし、株式会社大正銀行（以下「大正銀行」といい、当社と総称して「両社」といいます。）を株式交換完全子会社とする株式交換による経営統合（以下「本株式交換」といいます。）について、大正銀行及び大正銀行を持分法適用関連会社としている株式会社三菱東京UFJ銀行との間で基本合意書を締結することを決議し、同日締結いたしました。

1. 本株式交換の目的

本株式交換を行うことで、両社がそれぞれの経営・事業ノウハウの共有等を実施することにより、新グループとして収益力強化及び企業価値向上を図り、地域金融システムの安定化と地域経済の発展に貢献していくことを目的としております。

2. 本株式交換の方法及び内容

(1) 本株式交換の方法

当社を株式交換完全親会社、大正銀行を株式交換完全子会社とする株式交換となります。本株式交換は、当社については、会社法第796条第3項の規定に基づき株主総会の承認を必要としない簡易株式交換の手続により、また、大正銀行については、平成27年12月開催予定の臨時株主総会において株式交換契約の承認を受けたうえで行われる予定です。但し、今後、経営統合に向けて協議・検討を進めていく中で、日程又は統合形態等が変更される場合があります。

(2) 本株式交換に係る割当ての内容

本株式交換における株式交換比率は、今後実施するデューデリジェンスの結果及び第三者算定機関による株価算定の結果等を踏まえて株式交換契約締結までに決定いたします。

3. 本株式交換のスケジュール

| | |
|---------------|---------------------------|
| 平成27年4月10日 | 基本合意書締結 |
| 平成27年9月（予定） | 経営統合に関する最終契約締結（株式交換契約を含む） |
| 平成27年12月（予定） | 大正銀行臨時株主総会（株式交換契約の承認の決議） |
| 平成28年4月1日（予定） | 効力発生日 |

4. 大正銀行の概要

(平成26年9月末時点)

| | |
|-----------|-----------------|
| 設立年月日 | 昭和33年10月1日 |
| 本店所在地 | 大阪市中央区今橋2丁目5番8号 |
| 代表者 | 取締役社長 吉田 雅昭 |
| 資本金 | 2,689百万円 |
| 発行済株式総数 | 24,352千株 |
| 総資産（単体） | 450,450百万円 |
| 純資産（単体） | 19,019百万円 |
| 預金等残高（単体） | 410,500百万円 |
| 貸出金残高（単体） | 351,438百万円 |
| 決算期 | 3月31日 |
| 従業員数 | 352人 |
| 店舗数 | 26店舗 |

(参考) 個別業績の概況 (株式会社徳島銀行)

平成27年5月15日

会社名 株式会社徳島銀行

URL <http://www.tokugin.co.jp/>代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 吉岡 宏美
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員企画部長 (氏名) 藤井 仁三

TEL 088-623-3111

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成27年3月期の個別業績 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期 | 27,807 | 0.9 | 4,957 | △12.5 | 2,819 | △16.3 |
| 26年3月期 | 27,551 | 4.2 | 5,668 | 25.2 | 3,371 | 48.2 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|--------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | 36.53 | — |
| 26年3月期 | 43.69 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|-----------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年3月期 | 1,448,075 | 78,213 | 5.4 | 1,013.63 |
| 26年3月期 | 1,405,771 | 72,100 | 5.1 | 934.41 |

(参考) 自己資本 27年3月期 78,213百万円 26年3月期 72,100百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 平成28年3月期の個別業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成28年3月期の個別業績予想につきましては、決算説明資料9ページをご参照ください。

3. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 前事業年度 (平成26年3月31日) | 当事業年度 (平成27年3月31日) |
|------------|-----------------------|-----------------------|
| (資産の部) | | |
| 現金預け | 114,798 | 22,071 |
| 現金 | 14,119 | 14,305 |
| 預け | 100,679 | 7,765 |
| 商品 | — | 80,000 |
| 商品 | 5 | 64 |
| 商品 | 5 | 42 |
| 商品 | — | 22 |
| 金銭の信託 | 4,453 | 4,479 |
| 有価証券 | 379,373 | 428,953 |
| 国債 | 92,675 | 84,185 |
| 地方債 | 21,824 | 21,475 |
| 株式 | 115,210 | 133,833 |
| 株 | 18,009 | 19,282 |
| その他の証券 | 131,653 | 170,175 |
| 貸出 | 894,817 | 896,989 |
| 割引手形 | 8,176 | 8,523 |
| 手形貸付 | 103,284 | 86,217 |
| 証券書貸付 | 699,998 | 720,823 |
| 当座貸越 | 83,357 | 81,423 |
| 外国為替 | 1,947 | 1,947 |
| 外国他店預け | 1,396 | 1,427 |
| 買入外国為替 | 151 | 159 |
| 取立外国為替 | 399 | 360 |
| その他の資産 | 3,131 | 5,417 |
| 前払費用 | 18 | 15 |
| 未収収益 | 1,713 | 1,674 |
| 金融派生商品 | 216 | 2,625 |
| その他の資産 | 1,182 | 1,102 |
| 有形固定資産 | 14,661 | 17,459 |
| 建物 | 3,661 | 3,460 |
| 土地 | 8,390 | 8,600 |
| リース資産 | 506 | 449 |
| 建設仮勘定 | 1,373 | 4,358 |
| その他の有形固定資産 | 728 | 590 |
| 無形固定資産 | 64 | 64 |
| その他の無形固定資産 | 64 | 64 |
| 前払年金費用 | 822 | 727 |
| 繰延税金資産 | 1,109 | — |
| 支払承諾見返 | 3,862 | 3,853 |
| 貸倒引当金 | △13,277 | △13,953 |
| 資産の部合計 | 1,405,771 | 1,448,075 |

(単位：百万円)

| 科 目 | 前事業年度 (平成26年3月31日) | 当事業年度 (平成27年3月31日) |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|
| (負債の部) | | |
| 預 金 | 1,267,259 | 1,313,972 |
| 当 座 預 金 | 33,227 | 36,713 |
| 普 通 預 金 | 461,320 | 516,270 |
| 貯 蓄 預 金 | 23,216 | 23,185 |
| 通 知 預 金 | 2,585 | 1,140 |
| 定 期 預 金 | 706,226 | 703,176 |
| 定 期 積 金 | 5,107 | 5,311 |
| そ の 他 の 預 金 | 35,575 | 28,174 |
| 譲 渡 性 預 金 | 35,743 | 31,888 |
| 借 入 金 | 12,059 | 6,981 |
| 借 入 金 | 12,059 | 6,981 |
| 外 国 為 替 | 25 | 43 |
| 売 渡 外 国 為 替 | 25 | 19 |
| 未 払 外 国 為 替 | — | 24 |
| そ の 他 負 債 | 13,235 | 11,708 |
| 未 払 法 人 税 等 | 633 | 1,472 |
| 未 払 費 用 | 1,170 | 1,185 |
| 前 受 収 益 | 847 | 777 |
| 給 付 補 填 備 金 | 2 | 1 |
| 金 融 派 生 商 品 | 506 | 2,483 |
| リ ー ス 債 務 | 531 | 472 |
| 資 産 除 去 債 務 | 35 | 95 |
| そ の 他 の 負 債 | 9,507 | 5,220 |
| 役 員 賞 与 引 当 金 | 26 | 26 |
| 睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金 | 217 | 203 |
| 偶 発 損 失 引 当 金 | 157 | 187 |
| 繰 延 税 金 負 債 | — | 20 |
| 再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債 | 1,084 | 975 |
| 支 払 承 諾 | 3,862 | 3,853 |
| 負債の部合計 | 1,333,670 | 1,369,861 |
| (純資産の部) | | |
| 資 本 金 | 11,036 | 11,036 |
| 資 本 剰 余 金 | 9,514 | 9,514 |
| 資 本 準 備 金 | 9,514 | 9,514 |
| 利 益 剰 余 金 | 44,675 | 46,453 |
| 利 益 準 備 金 | 2,280 | 2,280 |
| そ の 他 利 益 剰 余 金 | 42,395 | 44,172 |
| 別 途 積 立 金 | 34,638 | 34,638 |
| 繰 越 利 益 剰 余 金 | 7,756 | 9,534 |
| 株主資本合計 | 65,226 | 67,004 |
| そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 5,413 | 9,636 |
| 繰 延 ヘ ッ ジ 損 益 | △1 | △0 |
| 土 地 再 評 価 差 額 金 | 1,462 | 1,573 |
| 評価・換算差額等合計 | 6,874 | 11,209 |
| 純資産の部合計 | 72,100 | 78,213 |
| 負債及び純資産の部合計 | 1,405,771 | 1,448,075 |

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日) | 当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日) |
|-----------------------|--|--|
| 経 常 収 益 | 27,551 | 27,807 |
| 資 金 運 用 収 益 | 22,248 | 21,786 |
| 貸 出 金 利 息 | 18,141 | 17,170 |
| 有 価 証 券 利 息 配 当 金 | 3,958 | 4,498 |
| コ ー ル ロ ー ン 利 息 | 54 | 6 |
| 預 け 金 利 息 | 73 | 95 |
| そ の 他 の 受 入 利 息 | 19 | 16 |
| 役 務 取 引 等 収 益 | 2,533 | 2,618 |
| 受 入 為 替 手 数 料 | 729 | 714 |
| そ の 他 の 役 務 収 益 | 1,803 | 1,903 |
| そ の 他 業 務 収 益 | 1,095 | 1,945 |
| 外 国 為 替 売 買 益 | 154 | — |
| 商 品 有 価 証 券 売 買 益 | — | 0 |
| 国 債 等 債 券 売 却 益 | 941 | 1,945 |
| そ の 他 経 常 収 益 | 1,673 | 1,457 |
| 債 却 債 権 取 立 益 | 351 | 355 |
| 株 式 等 売 却 益 | 714 | 628 |
| 金 銭 の 信 託 運 用 益 | — | 42 |
| そ の 他 の 経 常 収 益 | 608 | 432 |
| 経 常 費 用 | 21,882 | 22,850 |
| 資 金 調 達 費 用 | 918 | 829 |
| 預 金 利 息 | 738 | 693 |
| 譲 渡 性 預 金 利 息 | 61 | 53 |
| 借 用 金 利 息 | 104 | 70 |
| そ の 他 の 支 払 利 息 | 13 | 11 |
| 役 務 取 引 等 費 用 | 1,470 | 1,532 |
| 支 払 為 替 手 数 料 | 138 | 136 |
| そ の 他 の 役 務 費 用 | 1,332 | 1,395 |
| そ の 他 業 務 費 用 | 233 | 128 |
| 外 国 為 替 売 買 損 | — | 48 |
| 商 品 有 価 証 券 売 買 損 | 0 | — |
| 国 債 等 債 券 売 却 損 | 175 | 64 |
| 国 債 等 債 券 債 却 | 46 | — |
| そ の 他 の 業 務 費 用 | 10 | 14 |
| 営 業 経 費 | 13,592 | 13,572 |
| そ の 他 経 常 費 用 | 5,667 | 6,788 |
| 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 | 2,454 | 3,274 |
| 貸 出 金 償 却 | 2,898 | 3,293 |
| 株 式 等 売 却 損 | — | 45 |
| 株 式 等 償 却 | 19 | — |
| 金 銭 の 信 託 運 用 損 | 2 | — |
| そ の 他 の 経 常 費 用 | 292 | 174 |
| 経 常 利 益 | 5,668 | 4,957 |
| 特 別 利 益 | 225 | — |
| 子 会 社 清 算 益 | 225 | — |
| 特 別 損 失 | 62 | 246 |
| 固 定 資 産 処 分 損 失 | 16 | 8 |
| 減 損 損 失 | 45 | 238 |
| 税 引 前 当 期 純 利 益 | 5,831 | 4,710 |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 | 822 | 1,956 |
| 法 人 税 等 調 整 額 | 1,637 | △64 |
| 法 人 税 等 合 計 | 2,459 | 1,891 |
| 当 期 純 利 益 | 3,371 | 2,819 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | | | 株主資本合計 |
|---------------------|--------|-------|---------|-------|----------|---------|---------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益準備金 | 利益剰余金 | | 利益剰余金合計 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | | その他利益剰余金 | | | |
| | | | | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 11,036 | 9,514 | 9,514 | 2,280 | 34,638 | 5,001 | 41,920 | 62,470 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △617 | △617 | △617 |
| 当期純利益 | | | | | | 3,371 | 3,371 | 3,371 |
| 土地再評価差額の取崩 | | | | | | 1 | 1 | 1 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | — | 2,755 | 2,755 | 2,755 |
| 当期末残高 | 11,036 | 9,514 | 9,514 | 2,280 | 34,638 | 7,756 | 44,675 | 65,226 |

| | 評価・換算差額等 | | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|------------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期首残高 | 6,506 | △1 | 1,463 | 7,968 | 70,439 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △617 |
| 当期純利益 | | | | | 3,371 |
| 土地再評価差額の取崩 | | | | | 1 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △1,092 | △0 | △1 | △1,094 | △1,094 |
| 当期変動額合計 | △1,092 | △0 | △1 | △1,094 | 1,661 |
| 当期末残高 | 5,413 | △1 | 1,462 | 6,874 | 72,100 |

当事業年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | | | | 株主資本合計 |
|-------------------------|--------|-------|---------|-------|----------|---------|---------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益準備金 | 利益剰余金 | | 利益剰余金合計 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | | その他利益剰余金 | 繰越利益剰余金 | | |
| | | | | | 別途積立金 | | | |
| 当期首残高 | 11,036 | 9,514 | 9,514 | 2,280 | 34,638 | 7,756 | 44,675 | 65,226 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | | △413 | △413 | △413 |
| 会計方針の変更を当期首残高に反映した当期変動額 | 11,036 | 9,514 | 9,514 | 2,280 | 34,638 | 7,343 | 44,262 | 64,812 |
| 剰余金の配当 | | | | | | △617 | △617 | △617 |
| 当期純利益 | | | | | | 2,819 | 2,819 | 2,819 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | | △10 | △10 | △10 |
| 株主資本以外の項目当期変動額(純額) | | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | — | 2,191 | 2,191 | 2,191 |
| 当期末残高 | 11,036 | 9,514 | 9,514 | 2,280 | 34,638 | 9,534 | 46,453 | 67,004 |

| | 評価・換算差額等 | | | | 純資産合計 |
|-------------------------|--------------|---------|----------|------------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期首残高 | 5,413 | △1 | 1,462 | 6,874 | 72,100 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | △413 |
| 会計方針の変更を当期首残高に反映した当期変動額 | 5,413 | △1 | 1,462 | 6,874 | 71,687 |
| 剰余金の配当 | | | | | △617 |
| 当期純利益 | | | | | 2,819 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | △10 |
| 株主資本以外の項目当期変動額(純額) | 4,222 | 0 | 111 | 4,334 | 4,334 |
| 当期変動額合計 | 4,222 | 0 | 111 | 4,334 | 6,526 |
| 当期末残高 | 9,636 | △0 | 1,573 | 11,209 | 78,213 |

(参考) 個別業績の概況 (株式会社香川銀行)

平成27年5月15日

会社名 株式会社香川銀行 URL <http://www.kagwabank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 下村 正治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 近石 政義 TEL 087-812-5132

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成27年3月期の個別業績 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期 | 29,602 | △0.7 | 7,921 | 1.2 | 4,473 | 8.1 |
| 26年3月期 | 29,815 | 5.6 | 7,820 | 53.0 | 4,135 | 11.2 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|--------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | 59.09 | — |
| 26年3月期 | 54.64 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|-----------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年3月期 | 1,526,888 | 108,642 | 7.1 | 1,435.37 |
| 26年3月期 | 1,422,241 | 95,424 | 6.7 | 1,260.74 |

(参考) 自己資本 27年3月期 108,642百万円 26年3月期 95,424百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 平成28年3月期の個別業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成28年3月期の個別業績予想につきましては、決算説明資料9ページをご参照ください。

3. 個別財務諸表
 (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 前事業年度 (平成26年3月31日) | 当事業年度 (平成27年3月31日) |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|
| (資産の部) | | |
| 現金預け | 46,529 | 82,948 |
| 現金 | 15,295 | 14,489 |
| 預け | 31,233 | 68,458 |
| コ ー ル ー | — | 40,000 |
| 買 現 先 勤 | 15,000 | — |
| 商 品 有 価 証 | 195 | 168 |
| 商 品 国 債 | 195 | 168 |
| 有 価 証 | 358,891 | 349,976 |
| 国 債 | 116,479 | 103,913 |
| 地 方 債 | 16,815 | 18,023 |
| 社 債 | 124,317 | 118,428 |
| 株 式 | 21,810 | 27,172 |
| そ の 他 の 証 | 79,469 | 82,438 |
| 貸 出 金 | 979,316 | 1,026,549 |
| 割 引 手 形 | 12,329 | 11,404 |
| 手 形 貸 付 | 61,475 | 58,354 |
| 証 書 貸 付 | 853,433 | 899,365 |
| 当 座 貸 越 | 52,077 | 57,425 |
| 外 国 為 替 | 2,715 | 5,047 |
| 外 国 他 店 預 け | 2,586 | 4,893 |
| 買 入 外 国 為 替 | — | 4 |
| 取 立 外 国 為 替 | 128 | 149 |
| そ の 他 の 資 産 | 2,436 | 2,614 |
| 前 払 費 用 | 19 | 15 |
| 未 収 収 益 | 1,535 | 1,466 |
| 金 融 派 生 商 品 | 6 | 10 |
| そ の 他 の 資 産 | 875 | 1,122 |
| 有 形 固 定 資 産 | 24,334 | 24,445 |
| 建 物 | 4,035 | 4,048 |
| 土 地 | 18,843 | 18,820 |
| リ ー ス 資 産 | 290 | 634 |
| 建 設 仮 勘 定 | 73 | 0 |
| そ の 他 の 有 形 固 定 資 産 | 1,090 | 941 |
| 無 形 固 定 資 産 | 56 | 46 |
| ソ フ ト ウ ェ ア | 9 | — |
| そ の 他 の 無 形 固 定 資 産 | 46 | 46 |
| 前 払 年 金 費 用 | 158 | 798 |
| 支 払 承 諾 見 返 金 | 3,364 | 3,168 |
| 貸 倒 引 当 金 | △10,756 | △8,877 |
| 資産の部合計 | 1,422,241 | 1,526,888 |

(単位：百万円)

| 科 目 | 前事業年度 (平成26年3月31日) | 当事業年度 (平成27年3月31日) |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|
| (負債の部) | | |
| 預 金 | 1,296,928 | 1,351,577 |
| 当 座 預 金 | 35,320 | 38,453 |
| 普 通 預 金 | 499,326 | 520,276 |
| 貯 蓄 預 金 | 23,620 | 23,364 |
| 通 知 預 金 | 3,338 | 2,463 |
| 定 期 預 金 | 715,052 | 743,051 |
| 定 期 積 金 | 10,170 | 10,434 |
| そ の 他 の 預 金 | 10,099 | 13,533 |
| 譲 渡 性 預 金 | 8,500 | 9,800 |
| 借 入 金 | 1,216 | 34,385 |
| 借 入 金 | 1,216 | 34,385 |
| そ の 他 負 債 | 11,106 | 9,037 |
| 未 払 法 人 税 等 | 2,229 | 273 |
| 未 払 費 用 | 1,599 | 1,503 |
| 前 受 収 益 | 939 | 902 |
| 給 付 補 填 備 金 | 5 | 2 |
| 金 融 派 生 商 品 | 4 | 1 |
| リ ー ス 債 務 | 306 | 275 |
| そ の 他 の 負 債 | 6,021 | 6,079 |
| 賞 与 引 当 金 | 273 | 290 |
| 役 員 賞 与 引 当 金 | 27 | 27 |
| 睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金 | 185 | 188 |
| 偶 発 損 失 引 当 金 | 140 | 97 |
| 繰 延 税 金 負 債 | 607 | 5,627 |
| 再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債 | 4,466 | 4,046 |
| 支 払 承 諾 | 3,364 | 3,168 |
| 負債の部合計 | 1,326,817 | 1,418,246 |
| (純資産の部) | | |
| 資 本 金 | 12,014 | 12,014 |
| 資 本 剰 余 金 | 9,339 | 9,339 |
| 資 本 準 備 金 | 9,339 | 9,339 |
| 利 益 剰 余 金 | 57,944 | 61,897 |
| 利 益 準 備 金 | 2,674 | 2,674 |
| そ の 他 利 益 剰 余 金 | 55,269 | 59,222 |
| 圧 縮 積 立 金 | 28 | 29 |
| 別 途 積 立 金 | 43,436 | 43,436 |
| 繰 越 利 益 剰 余 金 | 11,804 | 15,756 |
| 株主資本合計 | 79,298 | 83,250 |
| そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 9,491 | 18,337 |
| 繰 延 ヘ ッ ジ 損 益 | 0 | 0 |
| 土 地 再 評 価 差 額 金 | 6,634 | 7,053 |
| 評価・換算差額等合計 | 16,125 | 25,391 |
| 純資産の部合計 | 95,424 | 108,642 |
| 負債及び純資産の部合計 | 1,422,241 | 1,526,888 |

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日) | 当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日) |
|-----------------------|--|--|
| 経 常 収 益 | 29,815 | 29,602 |
| 資 金 運 用 収 益 | 23,822 | 23,289 |
| 貸 出 金 利 息 | 19,210 | 18,821 |
| 有 価 証 券 利 息 配 当 金 | 4,520 | 4,392 |
| コ ー ル ロ ー ン 利 息 | 44 | 36 |
| 買 現 先 利 息 | 14 | 3 |
| 預 け 金 利 息 | 20 | 25 |
| そ の 他 の 受 入 利 息 | 12 | 10 |
| 役 務 取 引 等 収 益 | 3,296 | 3,244 |
| 受 入 為 替 手 数 料 | 945 | 932 |
| そ の 他 の 役 務 収 益 | 2,351 | 2,312 |
| そ の 他 業 務 収 益 | 1,368 | 1,151 |
| 外 国 為 替 売 買 益 | 120 | 189 |
| 国 債 等 債 券 売 却 益 | 361 | 342 |
| 国 債 等 債 券 償 還 益 | 254 | 33 |
| 金 融 派 生 商 品 収 益 | 192 | 310 |
| そ の 他 の 業 務 収 益 | 439 | 274 |
| そ の 他 経 常 収 益 | 1,328 | 1,918 |
| 償 却 債 権 取 立 益 | 724 | 574 |
| 株 式 等 売 却 益 | 151 | 894 |
| そ の 他 の 経 常 収 益 | 451 | 449 |
| 経 常 費 用 | 21,994 | 21,681 |
| 資 金 調 達 費 用 | 1,202 | 1,229 |
| 預 金 利 息 | 1,175 | 1,163 |
| 譲 渡 性 預 金 利 息 | 20 | 22 |
| コ ー ル マ ネ ー 利 息 | 0 | — |
| 借 用 金 利 息 | 3 | 16 |
| そ の 他 の 支 払 利 息 | 3 | 26 |
| 役 務 取 引 等 費 用 | 1,949 | 2,014 |
| 支 払 為 替 手 数 料 | 171 | 169 |
| そ の 他 の 役 務 費 用 | 1,778 | 1,845 |
| そ の 他 業 務 費 用 | 338 | 494 |
| 商 品 有 価 証 券 売 買 損 | 2 | 0 |
| 国 債 等 債 券 売 却 損 | 104 | 46 |
| 国 債 等 債 券 償 却 | — | 343 |
| そ の 他 の 業 務 費 用 | 231 | 104 |
| 営 業 経 費 用 | 15,240 | 15,335 |
| そ の 他 経 常 費 用 | 3,263 | 2,606 |
| 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 | 2,315 | 491 |
| 貸 出 金 償 却 | 725 | 1,396 |
| 株 式 等 売 却 損 | 22 | 655 |
| 株 式 等 償 却 | 1 | 2 |
| そ の 他 の 経 常 費 用 | 196 | 62 |
| 経 常 利 益 | 7,820 | 7,921 |
| 特 別 利 益 | 6 | — |
| 固 定 資 産 処 分 益 | 6 | — |
| 特 別 損 失 | 83 | 50 |
| 固 定 資 産 処 分 損 失 | 61 | 30 |
| 減 損 損 失 | 22 | 19 |
| 税 引 前 当 期 純 利 益 | 7,743 | 7,870 |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 | 2,972 | 1,869 |
| 法 人 税 等 調 整 額 | 634 | 1,527 |
| 法 人 税 等 合 計 | 3,607 | 3,397 |
| 当 期 純 利 益 | 4,135 | 4,473 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | | | | | 株主資本合計 |
|---------------------|--------|-------|---------|-------|----------|--------|---------|---------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益準備金 | 利益剰余金 | | | 利益剰余金合計 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | | その他利益剰余金 | | | | |
| | | | | | 圧縮積立金 | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 12,014 | 9,339 | 9,339 | 2,674 | 29 | 43,436 | 8,263 | 54,404 | 75,758 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △605 | △605 | △605 |
| 当期純利益 | | | | | | | 4,135 | 4,135 | 4,135 |
| 圧縮積立金の取崩 | | | | | △0 | | 0 | | |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | | | 10 | 10 | 10 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | △0 | — | 3,541 | 3,540 | 3,540 |
| 当期末残高 | 12,014 | 9,339 | 9,339 | 2,674 | 28 | 43,436 | 11,804 | 57,944 | 79,298 |

| | 評価・換算差額等 | | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|------------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期首残高 | 8,951 | △0 | 6,644 | 15,595 | 91,353 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △605 |
| 当期純利益 | | | | | 4,135 |
| 圧縮積立金の取崩 | | | | | |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | 10 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 540 | 0 | △10 | 529 | 529 |
| 当期変動額合計 | 540 | 0 | △10 | 529 | 4,070 |
| 当期末残高 | 9,491 | 0 | 6,634 | 16,125 | 95,424 |

当事業年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

（単位：百万円）

| | 株主資本 | | | | | | | | 株主資本合計 |
|---------------------|--------|-------|---------|-------|----------|--------|---------|---------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益準備金 | 利益剰余金 | | | 利益剰余金合計 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | | その他利益剰余金 | | | | |
| | | | | | 圧縮積立金 | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 12,014 | 9,339 | 9,339 | 2,674 | 28 | 43,436 | 11,804 | 57,944 | 79,298 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | | | 84 | 84 | 84 |
| 会計方針の変更を当期首残高 | 12,014 | 9,339 | 9,339 | 2,674 | 28 | 43,436 | 11,889 | 58,029 | 79,383 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △605 | △605 | △605 |
| 当期純利益 | | | | | | | 4,473 | 4,473 | 4,473 |
| 圧縮積立金の積立 | | | | | 1 | | △1 | | |
| 圧縮積立金の取崩 | | | | | △0 | | 0 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | 0 | — | 3,867 | 3,867 | 3,867 |
| 当期末残高 | 12,014 | 9,339 | 9,339 | 2,674 | 29 | 43,436 | 15,756 | 61,897 | 83,250 |

| | 評価・換算差額等 | | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|----------|------------|---------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期首残高 | 9,491 | 0 | 6,634 | 16,125 | 95,424 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | 84 |
| 会計方針の変更を当期首残高 | 9,491 | 0 | 6,634 | 16,125 | 95,508 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △605 |
| 当期純利益 | | | | | 4,473 |
| 圧縮積立金の積立 | | | | | |
| 圧縮積立金の取崩 | | | | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 8,846 | 0 | 419 | 9,265 | 9,265 |
| 当期変動額合計 | 8,846 | 0 | 419 | 9,265 | 13,133 |
| 当期末残高 | 18,337 | 0 | 7,053 | 25,391 | 108,642 |